

戦略的大学連携支援事業

科学 Try アンゲル岡山」 行事等 報告書

行事名	科学館の見学（岡山大学・岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・津山工業高等専門学校）		
担当部門・機関	国際交流部門・津山工業高等専門学校		
開催日時・期間	2009年10月18日(日) 8:30~19:00	会場	神戸市立青少年科学館

《概要》

連携機関内の大学・高専の留学生を対象に、日本の科学技術を紹介し、かつ留学生間の交流を深めるため、神戸市立青少年科学館の見学を行った。当館は日本でも有数の設備を持つ科学館で、アンケートの結果から、大半の東南アジア出身の留学生にとっては非常に有益であったことが窺える。県南から1台、県北から1台それぞれバスを用意し、合流後に各大学・高専の代表による紹介を行い、交流を深めた。

《参加者》

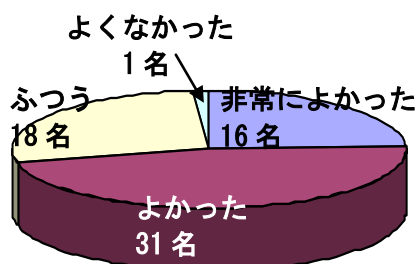
岡山大学27名、岡山理科大学12名、倉敷芸術科学大学9名、津山高専18名の留学生およびスタッフ6名合計72名の参加者があった。

《報告事項》

神戸市立青少年科学館は延床面積が12380m<sup>2</sup>という日本有数の大型科学館で、ハンググライダーのシミュレーション、月の重力体験などユニークな体験施設もあった。展示室は6つに分かれ、巨大な地球儀や地球ロボット、さまざまなエネルギーを表した各種の実験装置、天体観測室では太陽の黒点とプロミネンスを観察できた。見学は各人が自由に行い、それぞれ興味のある展示の前では熱心に見入っていた。交流会ではそれぞれの大学・高専の紹介や留学の印象を話し、お互いに連携機関の様子を知り合えたと思われるが、到着が遅れたため、十分な時間が取れなかった。アンケート結果によると、おおむね好評であったが、日本語がわからず、神戸市内の見学と勘違いした学生も少なからずいて、チラシには英語、中国語併記の必要性を感じた。なお、入館料、傷害保険料として一人680円を徴収した。

1. アンケート結果

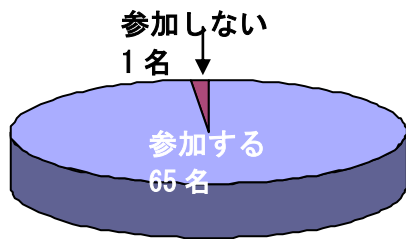
◎今回の行事について



非常によかった 24.3%とよかった 47%を合わせると71.2%で、この種の企画としては評価は低かった。上述したようにこの行事の趣旨がわからずに参加した留学生が多かったためと思われる。

◎感想

- ・他大学の留学生と交流できてよかった
- ・子供向けだったので物足りなかった
- ・とても役に立ちました。信じられないものをたくさん見た
- ・日常の科学がわかりやすく説明されていて勉強になった
- ・科学館の見学ではなくて神戸市の観光だと思った



◎今後もこのような行事に参加しますか

前のアンケートにあるように今回の行事は高い評価ではなかったが、98%の留学生がこのような行事があれば、また参加したいと答えており、企画の意義はあったものと考えられる。

◎今後はどのようなイベントを希望しますか

- ・自分でやることができるものを体験して知識や能力を身に着きたい
- ・ボランティア活動や人に接触する行事をして欲しい
- ・工場を見学したい（複数）
- ・広島原爆記念館を見学したい
- ・留学生の交流を深める行事をして欲しい（多数）
- ・日本の伝統文化を知る事ができる行事を企画して欲しい
- ・観光ではなく、有名な所を見学したい
- ・文化的行事，ワーキングセミナーなどをして欲しい
- ・留学生の就職に関する情報を得る機会（複数）



交流会で話をする留学生（写真左）



展示物に興じる留学生（写真右）